

Kidswell.Bio

バイオで価値を創造する -こども・家族・社会をつつむケアを目指して-



証券コード：4584

2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年8月14日

キッズウェル・バイオ株式会社

© 2024 Kidswell Bio Corporation.

Agenda

目次

- ◆ 業績ハイライト
- ◆ 企業価値向上に向けた取り組み

業績ハイライト

(単位：千円)

科目	2024年3月期	2025年3月期		1Q実績 キッズウェル・バイオ単体 (非連結)
	1Q実績 (非連結)	1Q実績 (連結)	対前年比	
売上高	45,979	482,957	--	482,066
売上原価	853	259,332	--	259,332
売上総利益	45,126	223,625	--	222,734
販売費及び一般管理費	500,175	382,568	76%	192,518
研究開発費	312,535	176,648	57%	54,584
その他販管費	187,640	205,919	110%	137,934
営業利益 (マイナスは営業損失)	△455,049	△158,943	--	30,215
経常利益 (マイナスは経常損失)	△470,326	△176,289	--	12,389
四半期純利益 (マイナスは四半期純損失)	△470,629	△176,694	--	11,984

- <売上高・売上総利益>**
 - 需要が非常に活発なGBS-007及びGBS-010を含む、バイオシミラー全製品の納品は、計画通り順調に進行
 - 前期から続く一部のバイオシミラー製品に関する一時的な支払条件の変更（製造費用をパートナー製薬企業からCDMOに直接支払）が、売上高と売上原価を若干圧縮しているものの、売上総利益以下への影響はない
- <研究開発費・その他販管費>**
 - 期初の計画通り推移
- <四半期純利益>**
 - 物価上昇と円安の影響を受けたものの、キッズウェル・バイオ単体（バイオシミラー事業）では、黒字化を達成

貸借対照表

(単位：千円)

科目	2024年3月期 4Q (非連結)	2025年3月期 1Q (連結)
流動資産	4,924,221	4,448,427
(現預金)	2,231,411	1,166,900
(売掛金)	881,407	598,493
(製品)	--	--
(仕掛品)	875,654	1,280,344
(前渡金)	739,567	1,261,577
(その他)	196,181	141,111
固定資産	161,329	161,010
資産合計	5,085,550	4,609,438
流動負債	2,375,227	2,180,420
固定負債	1,878,850	1,714,968
負債合計	4,254,077	3,895,388
純資産合計	831,473	714,049
負債・純資産合計	5,085,550	4,609,438

<現預金>

- ・ バイオシミラー原薬・製剤の製造費用の支払いに伴い、現預金残高は減少

<製造運転資金>

- ・ バイオシミラーの安定供給に向けて高い水準を維持

今期（2025年3月期）の業績見通し

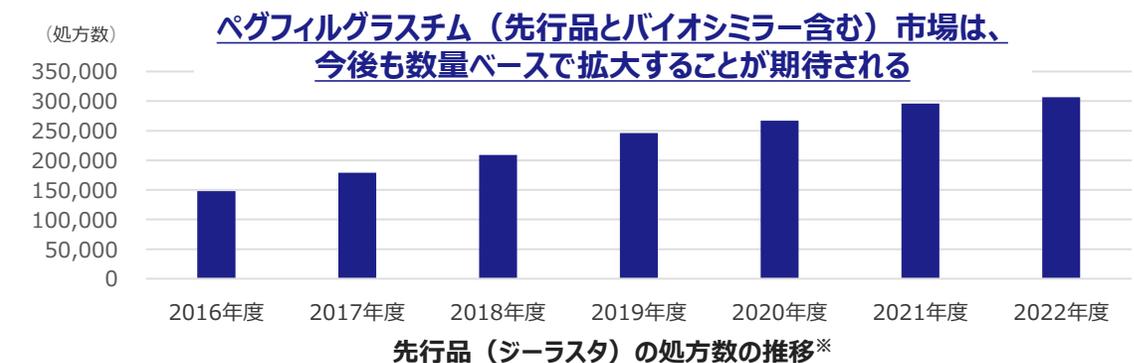
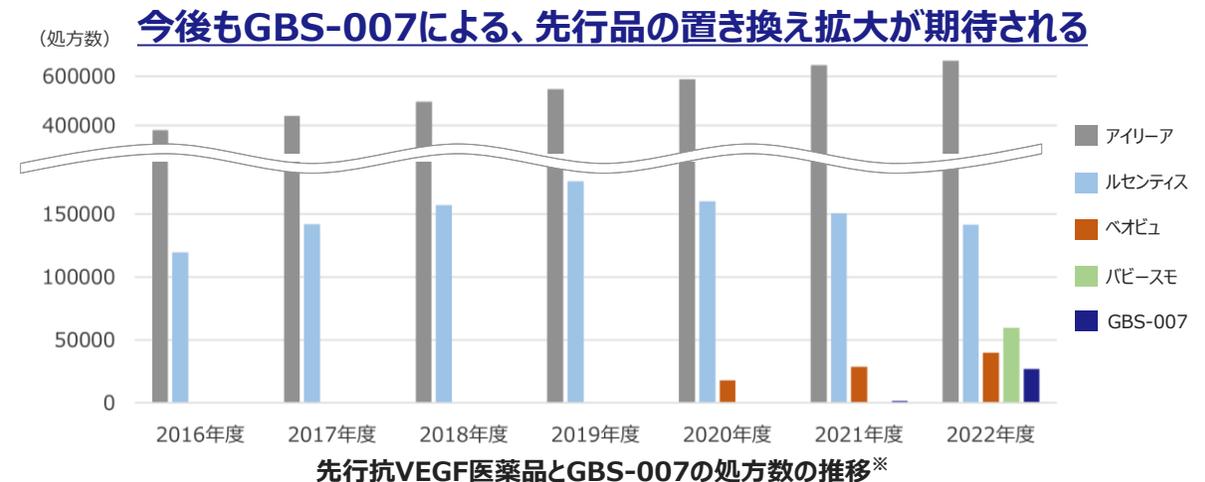
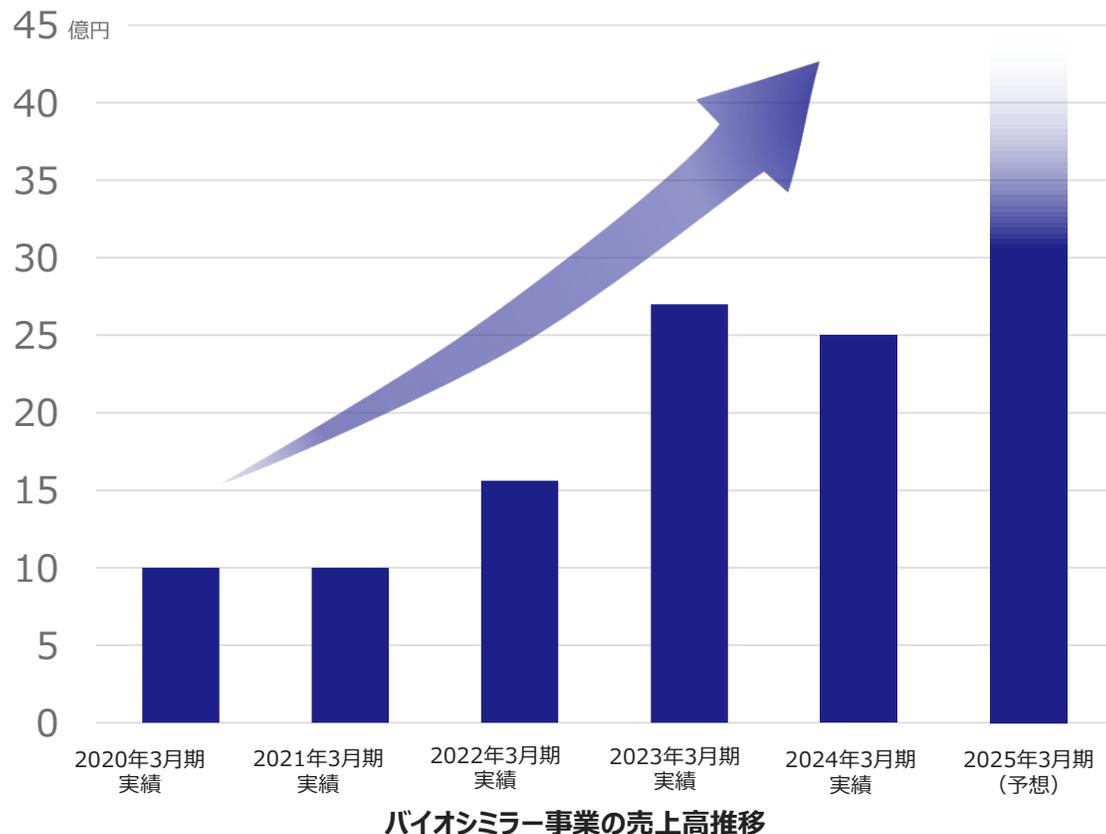
- 現時点では、信頼性の高い今期（2025年3月期）業績予想数値の算出が困難であることから、売上高のみレンジ形式で見通しを開示
- 営業利益、経常利益及び当期純利益については、協議・調整が進み次第、業績予想を速やかに開示

(単位：千円)

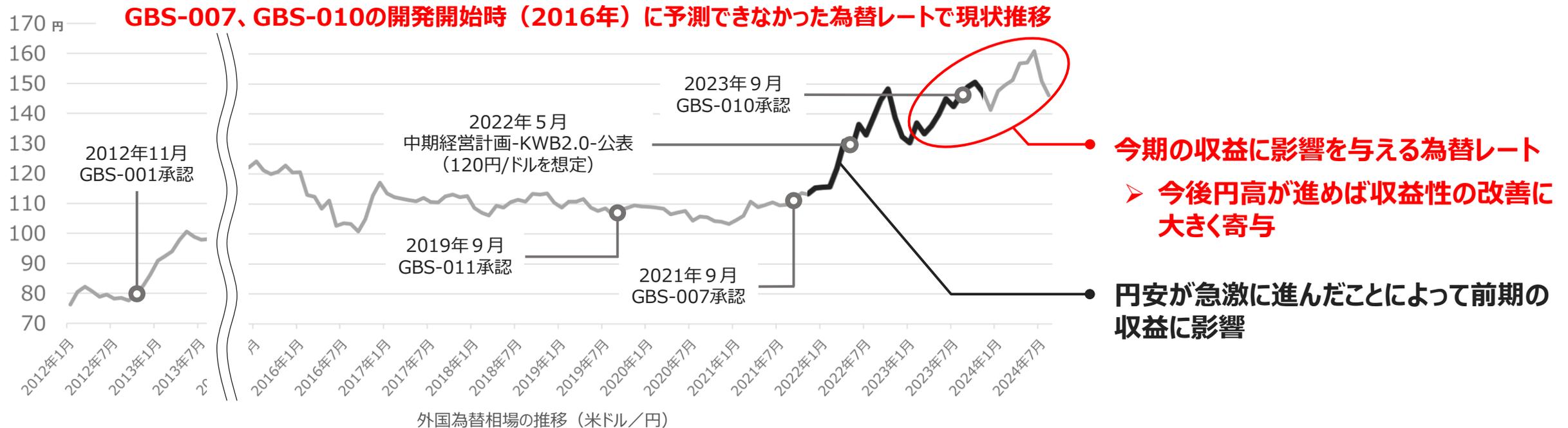
科目	2024年3月期	2025年3月期	
	4Q実績（非連結）	通期予想（連結）	増減率
売上高	2,431,236	3,500,000 ~ 4,500,000	+43.9% ~ +85.0%
研究開発費※	1,453,349	1,350,000	--
営業利益（マイナスは営業損失）	△1,335,597	--	--
経常利益（マイナスは経常損失）	△1,389,601	--	--
当期純利益（マイナスは当期純損失）	△1,422,078	--	--

今期（2025年3月期）業績予想数値の算出及び開示にかかわる要素		進捗状況
バイオシミラー事業 （パートナー製薬企業 及び製造委託先企業 等との協議・調整）	バイオシミラー製品の薬価改定等に伴う、パートナー製薬企業への供給価格の交渉	一部対応済
	バイオシミラー原薬の製造価格の高騰への対応（円安、人件費・資材価格の高騰の影響とその対応等）	対応中
	バイオシミラー原薬・製剤の製造及び納品スケジュールと供給量の調整	一部対応済
	新規バイオシミラーの共同開発契約等に関する協議	対応中
細胞治療事業	開発パートナー候補企業等との協議	対応中

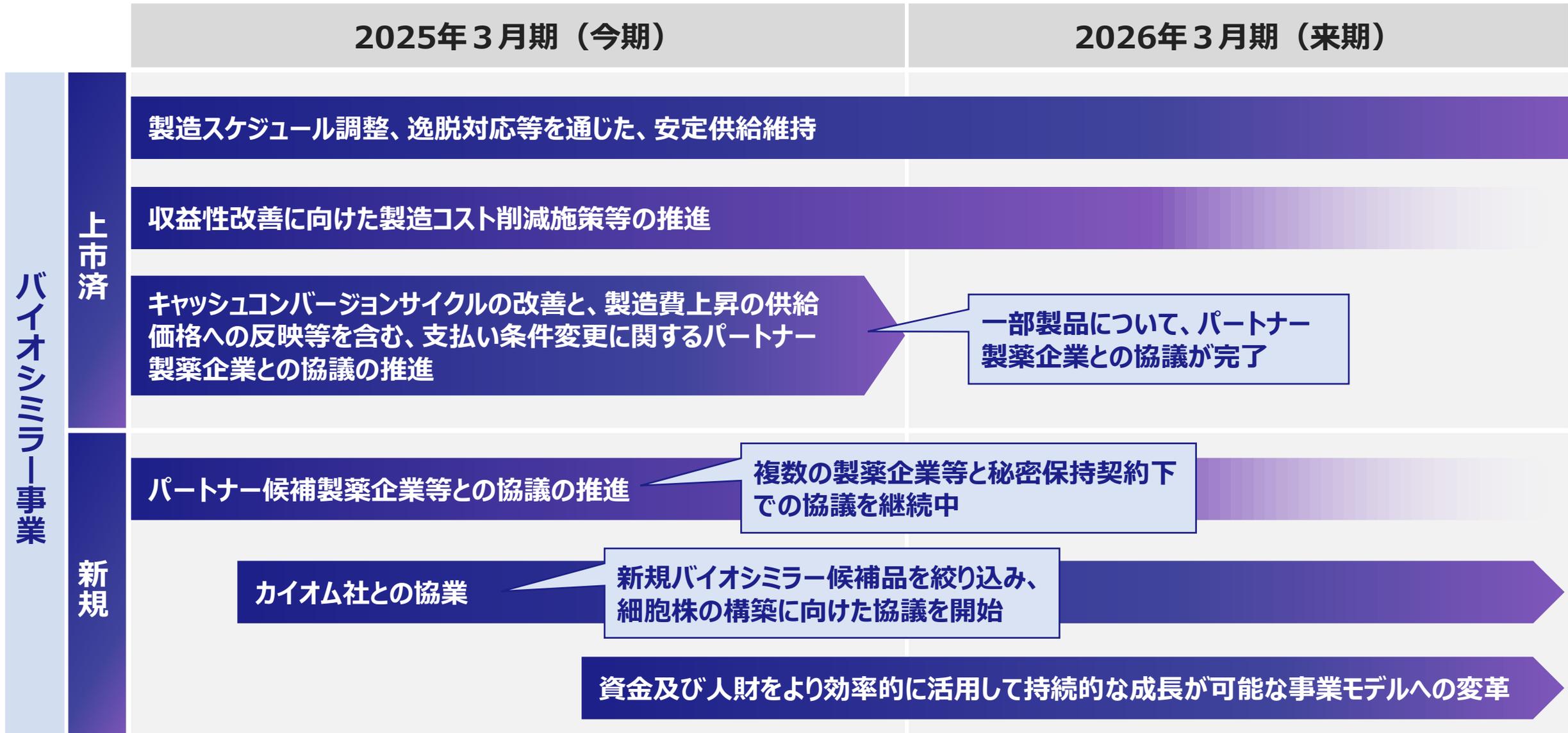
- 昨年度のGBS-010の承認とGBS-007の適応症追加を受けて、今期以降、更なる収益拡大が見込まれる
- 足元の急激な円高による企業業績や景気への影響が懸念されつつあるが、過去の市場動向から、バイオシミラーを含む医薬品に対する需要は、景気動向による影響を受けにくく、収益拡大の鈍化にはつながらない



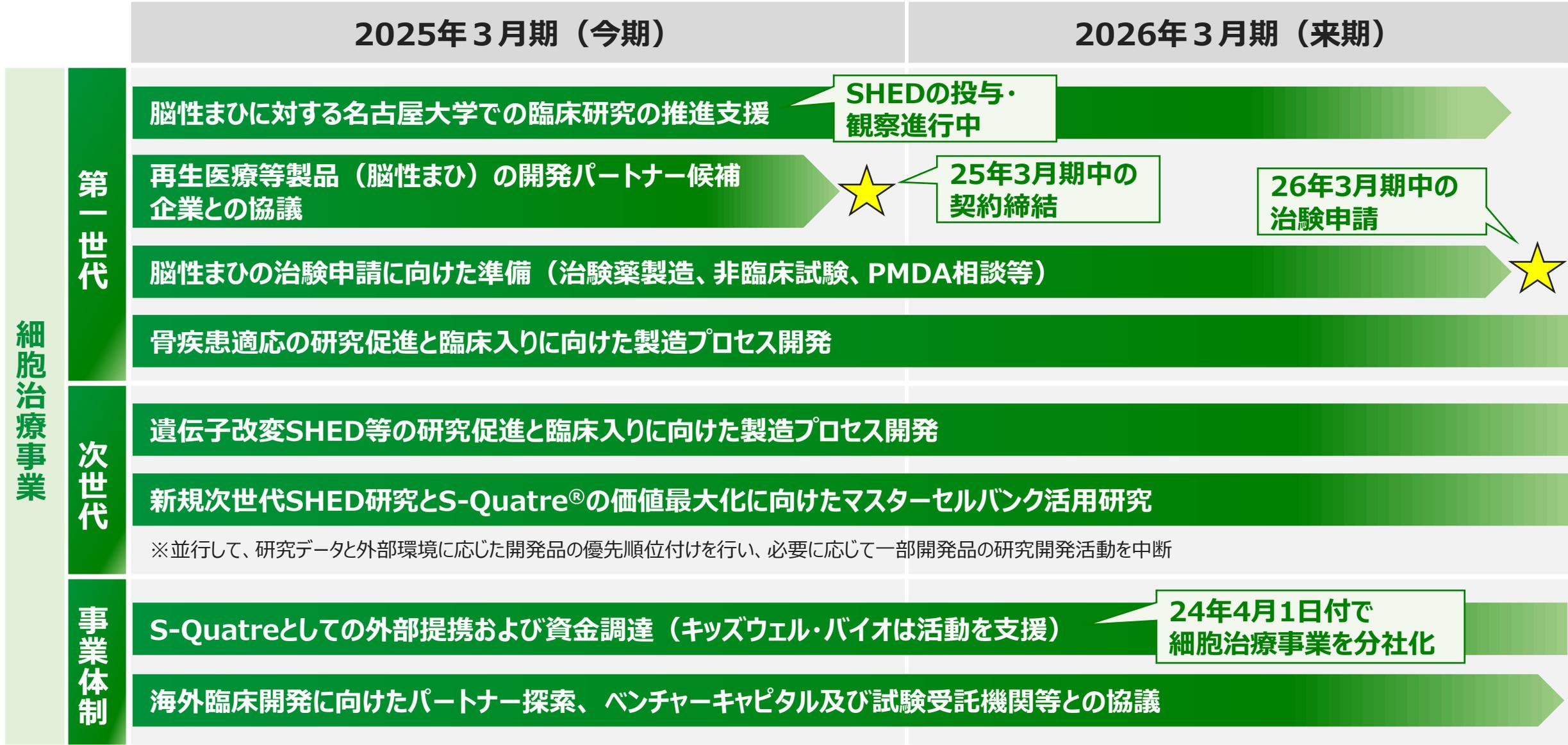
- 粗利率：バイオシミラー原薬は全て海外で製造しているため、為替変動が直接的に影響**
 - 2022年以降の急激な円安により円建て売上原価が増加し粗利率が大きく低下しているが、足元の円高傾向が継続すれば、今期第3四半期以降の円建て売上原価は減少し、粗利率は改善
 - 新たに上市したGBS-010を含む製品構成において、支払い時の平均為替レートが10円変動すると、当社の年間売上高10億円当たり、粗利は年間約0.5億円増減
- 研究開発費：バイオシミラー事業、細胞治療事業とも研究開発活動の一部を海外企業に委託しているため、為替変動の影響を多少受ける**



企業価値向上に向けた取り組み



主要な取り組みの計画 -細胞治療事業 (S-Quatre) -



企業価値の最大化、株価の回復、事業の成長を推進

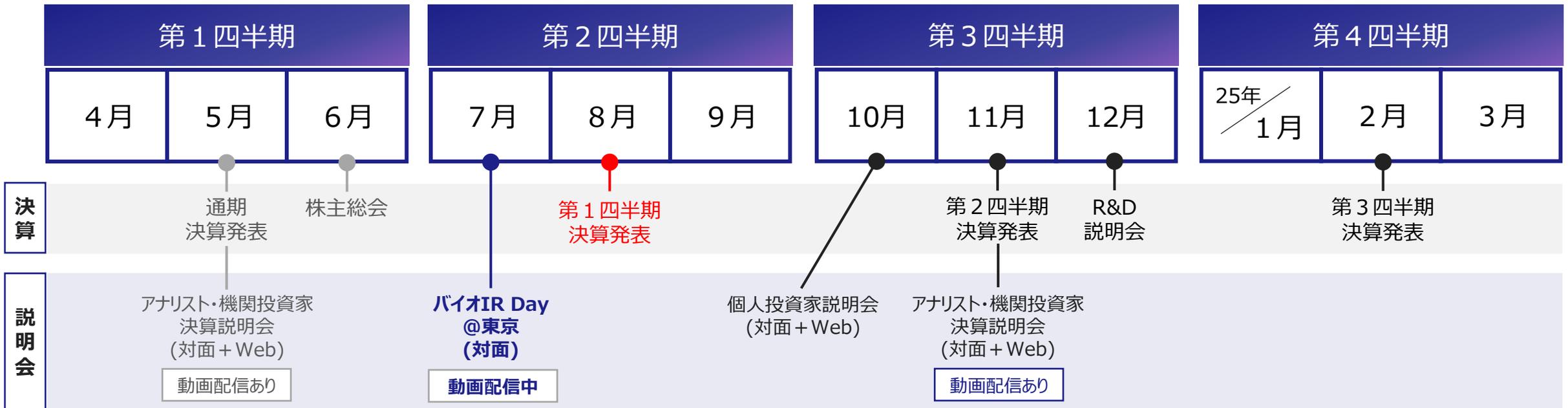
経営戦略

	2025年3月期（今期）	2026年3月期（来期）
<p>① 経営資源の効率的な活用</p>	<p>企業文化・制度の再構築</p> <p>業務効率化による経営資源の最大活用</p>	<p>更なる業務効率化等の改善による経営資源の最大活用</p>
<p>② 資金調達手段の最適化</p>	<p>それぞれの事業の性質・ステージに応じた資金調達</p> <p>開発パートナー企業等との提携による資金調達</p>	<p>資金調達手段の最適化と資金効率改善による必要資金の圧縮との組み合わせで、早期に株式市場依存からの脱却を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第10回新株予約権の行使期間が満了したが、必要資金の圧縮が進んでいるため、株式市場からの新たな資金調達は不要と判断
<p>③ 事業価値の見える化</p>	<p>ステークホルダーに対する情報発信の“質の向上”</p> <p>海外機関投資家との積極的な対話</p> <p>メディアへのアプローチ積極化による記事媒体等の露出頻度増加</p>	<p>情報発信の“質の更なる向上”への継続的な取り組み</p>

IRの基本方針

- 株主・投資家の皆様からの当社への理解を促進し、適正な評価を可能とするための、コミュニケーションの改善に努める
- 単に説明会開催の頻度を増やすのではなく、発信する“情報の質”の向上に取り組む

<年間IRスケジュール（予定）>



ニュース発表及び事業内容に関する補足説明動画の随時配信の継続、IRイベント等への出展による説明会を積極化

圧倒的な実績に裏付けされたバイオシミラー開発パートナー、
そしてSHED創薬のグローバルトップランナーとして、パートナー企業等と共に企業価値向上の実現へ

Kidswell.Bio

バイオシミラー事業

- 上市済み4製品の収益最大化
- 第5製品目以降の積極的な開発の実施
- 当社強みを最大限に活かせる事業モデルへの変革と継続的な成長の実現

S-Quatre

細胞治療事業

- SHEDの開発パートナーへの導出実現
- 遺伝子改変SHED研究の前進
- 細胞原料安定供給プラットフォーム「S-Quatre®」の価値最大化（新規モダリティへの応用）

A background image showing two hands shaking in a firm grip, symbolizing partnership or agreement. The hands are positioned in the center of the frame, with the left hand slightly higher than the right. The background is a soft-focus green and yellow bokeh, suggesting an outdoor setting. A semi-transparent hexagonal molecular structure pattern is overlaid on the bottom half of the image.

KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になれること、こどもが力になれること

本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。